

プレサウンディング調査概要

郡山市のシンボリックな公園である開成山公園において、日本遺産の構成文化財として位置づけられている「五十鈴湖」や日本最古の「ソメイヨシノ」及び自由広場がある西側エリアで、Park-PFI事業による課題解決や将来に向けた効果的な整備・運営を計画しています。

本調査は、周辺事業者及び参入検討企業へ公園の整備・管理・運営に関するアンケート調査を事前に実施し、調査結果を事業計画等へ反映させることにより、より効果的な事業の実施を目的としています。

Park-PFI事業とは？

収益施設（飲食店・売店など）の設置・管理運営と、その将来的な収益を活用した公園整備（トイレや駐車場等）を、公募により選定された民間事業者が一体的に実施する事業



施工前

先進事例



施工後

- 久屋大通公園（名古屋市）2020年9月一部オープン
- 収益施設：飲食店・物販店
- 公園整備：園路・水景施設・公園灯・芝広場・植栽

他の先進公園  
・花園中央公園(東大阪)・本町公園(和歌山市)・東所沢公園(所沢市)

事業内容

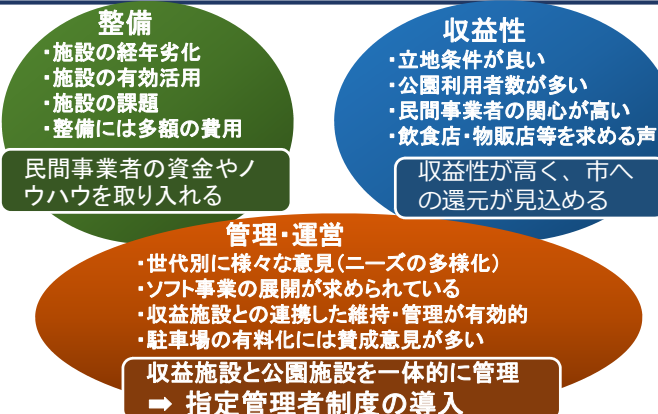
主体	役割	メリット
郡山市	・公募の手続き（許可、協定等） ・一部公園整備費の負担（9割以下）	・より良いサービスの提供 ・公的財政負担の軽減
実施事業者	・収益施設の整備・運営（サービス提供） ・公園施設の整備・管理・運営 ・イベント（自主事業）の実施 ・一部公園整備費の負担（1割以上の提案）	・長期的（最大20年）な運営 ・収益施設やイベント実施による収益確保 ・整備から管理・運営まで一体的にデザイン
公園利用者	・利用（利用料等の支払い）	・利便性や快適性の向上

これまでの取り組み

市場調査

- ◆第二回エリアプラットフォーム（2018年12月）Park-PFI事業の可能性について民間事業者17団体と意見交換
- ◆まちづくりネットモニター（2019年5月）市民対象アンケート（回答者360名中334名 回答率92.8%）
- ◆事前サウンディング（2020年7月～8月）整備内容・参入条件について民間事業者17団体と意見交換
- ◆トライアル・サウンディング（2020年10月）民間事業者7団体が公園の暫定利用（ソフト事業の展開）⇒事業者及び利用者からの意見徴収 ※参加利用者2万人
- ◆利用者アンケート（2020年12月）専用ウェブサイトから回答（回答者562名）

結果



整備の方向性

施設	課題	方向性（案）
駐車場	季節・イベント時に混雑	有料化にして整備拡大 ※初期時間無料措置検討
自由広場	利用・活用	芝生化及び園路整備
トイレ	数が少ない 使いにくい	トイレの増設 洋式化、自動水洗化
五十鈴湖	水質悪化	井戸の増設による水の循環
野外音楽堂	利活用	利用の多目的化(改修含む)
公園灯	少なく暗い	公園灯の増設

スケジュール

令和3年度			令和4年度				令和5年度				令和6年度
第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	
	プレサウンディング調査	官民対話	事業者募集 R4.4～R4.7 (4か月)	候補者決定	協定締結 設計協議		Park-PFI事業 整備工事				供用開始 R6年度中～ R25.3 (指定管理期間)

開成山公園等Park-PFI事業の詳細

